

(別紙1)

令和6年度 実績報告書

(1) 事業名	民間力を活用した災害に強いまちづくり事業
(2) 実施期間	実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
(3) 事業目的、背景	<p>(事業の目的)</p> <p>今後発生が想定される災害(地震、水害、土砂災害等)からまちを守り、被害を最小化するために、災害分野で14年間活動してきたCivic Forceの経験や知見、企業等とのネットワークを活かし、災害に強いまちづくりに貢献する。</p> <p>(事業の背景)</p> <p>Civic Forceは、日本の災害対応における調整機関として2009年に設立され、東日本大震災をはじめとした全国の災害に対応している。行政・企業・NGO/NPOなど災害対応に取り組む多くのステークホルダーと共に、迅速に災害対応にあたることにより、災害による被害・損失の減少、災害に強い社会の実現を目標としている。</p> <p>上記の目標を達成するため、被災地への緊急即応チームの派遣、災害対応や地域復興に関する情報発信、災害に関するシンポジウムの開催などを行っているほか、災害時の企業とCSOの協力の枠組み構築、調整を促進する役割を果たすと共に、行政や企業の災害対応の取り組みを支援している。</p> <p>ここ数年、佐賀県では、数十年に一度の大規模な水害が常態化してきおり、河川改修等のハード整備だけでは自然災害の被害を回避できないことから、ソフト施策(市民による避難・救助等)の取り組み、民間による支援を効果的に活用する必要性が高まっている。</p> <p>(本事業で解決を目指す地域課題)</p> <p>災害は特に高齢者や障がい者、貧困層など普段から社会的・経済的に脆弱な状況にある人々に対するリスクが高い。専門性やサービスを有する企業やCSO(市民社会組織)と連携して、災害時に適切な対応を促すための防災教育を行うことや、発災直後に適切な救助活動、関係者間の調整を行うことで、被害を最小限にし、被災後、迅速に復旧・復興を進めるための準備を通じて、安心して住み続けられるまちづくりを目指す。</p>
(4) 事業内容 ※できるだけ具体的に 記載してください。 ※事業内容を示すフロー	<p>(事業の概要)</p> <p>1. 防災拠点の強化(防災活動拠点の整備)</p> <p>資金の目途が立たなかったため、実施しなかった。</p> <p>既存の佐賀女子短期大学3号館内の防災倉庫の維持管理、備蓄物資の受</p>

<p>図等があれば添付可</p>	<p>入及び提供を行った。</p> <p>2. 防災対応力の向上（防災訓練の実施、防災教育の推進）</p> <p>災害発生時に迅速な支援を可能とする体制の強化を目的として、災害支援用トレーラーハウスの定期点検・整備を実施し、臨時運行許可証の更新を行った。</p> <p>さらに、2025年1月4日には、株式会社山陽パーツ（山口県周南市）と使用賃貸契約を締結し、災害支援用トレーラーハウス1台を同社に引き渡した。これにより、山陽パーツがトレーラーの日常的な点検・管理を担う体制を構築し、災害発生時には迅速かつ的確に被災地のニーズに応える運用体制を整備した。</p> <p>3. 民間主体による災害対応ネットワークの拡充（Good Links の活用）</p> <p>災害時における民間主体の支援体制を強化するため、支援マッチングプラットフォーム「Good Links」の基盤強化を実施した。</p> <p>・新規会員の募集</p> <p>以下のとおり、企業および支援団体の新規登録を促進した。</p> <p>【Good Links 登録状況】（2025年3月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 全体 企業数 13 支援団体数 61（支援対象者数 36,790/支援対象者数の確認が取れている 34 団体の合計） - 令和6年度新規登録数 企業数 3 支援団体数 13（支援対象者数 14,760/支援対象者数の確認が取れている 11 団体の合計） <p>【佐賀県内の Good Links 登録状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 全体 企業数 5 支援団体数 24（支援対象者数 4,670/支援対象者数の確認が取れている 11 団体の合計） - 令和6年度新規登録数 企業数 0 支援団体数 2（支援対象者数 20/支援対象者数の確認が取れている 1 団体の合計） <p>・UX向上を目的とした機能追加およびシステム改修，広報ツールの作成</p> <p>入力項目の見直し、リマインド通知の実装、利用率の低い機能の削除、利用者拡大に対応した機能の再設計、全体的なUIの改善を行い、利用者の利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・NPO会員の拡大を目的としたランディングページの作成 <p>Good Links のサービス内容と価値を直感的に伝えるためのマンガを制作し、企業やNPOとの接点を増やすことを目的にランディングページを作成した（2025年6月公開予定）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Good Links を通じた支援活動の実施 <p>企業から無償提供を受けた衣料品、生活消耗品、化粧品など 1,600 点以</p>
------------------	--

上を、佐賀県内のNPO、社会福祉協議会、社会福祉士会など16団体を通じて、生活困窮者や支援を必要とする人々に届けた。

物価高騰の影響により支援ニーズが高まっており、トイレトペーパーやティッシュなどの消耗品が「家計の助けになっている」との声も寄せられている。現在、県内24団体がネットワークに参加しており、災害時には要支援者・要配慮者への迅速な支援提供が可能な体制が構築できている。

・「Good Links」を活用した災害支援活動の実績

佐賀県発の支援マッチングプラットフォーム「Good Links」を活用し、以下の災害支援活動を実施した。

2024年7月 | 秋田県大雨災害：長靴や作業用手袋などの救援物資を提供

2024年9月 | 能登半島豪雨：簡易トイレや送風機などを現地に送付

2025年2月 | 岩手県大船渡市の山林火災：マスクや靴下などの支援物資を迅速にマッチング・提供

これらの取り組みにより、佐賀県で平時から構築してきたネットワークと支援体制が、他県での災害発生時にも有効に機能しており、地域を越えた支援のモデルとして全国に広がりつつある。

・「Good Links」の事業計画の策定

外部専門家（プログラム・オフィサー経験者）の助言を受け、既存の事業計画を見直し、より実現可能性の高い計画へとブラッシュアップを実施。具体的には、マッチング数、会員獲得数、サービス利用率などの数値目標を設定した。これにより、事業の進捗を定量的に把握・評価できる体制を整えた。

（実施スケジュール）

Good Linksの管理・運用は通年で実施した。

7月 秋田県大雨災害支援

9月 能登半島豪雨災害支援

1月 トレーラーの管理で山陽パーツと連携

2月 岩手県大船渡市山林火災支援

1月～3月 Good Linksのシステム改修

3月 広報ツールの作成

（実施地域）

佐賀県、秋田県、石川県、岩手県

（主な受益者・想定人数）

Good Linksを通じた支援の受益者約4,000人

(5) 事業効果	<p>(事業効果及び県民が受けた便益)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県大雨災害、能登半島豪雨、岩手県大船渡市の山林火災など、様々な種類と規模の災害に対し、佐賀から被災地に効果的に支援を届けることができた。 ・佐賀市内の倉庫に備蓄している日用品（生理用品、オムツ、衣料品等）を県内の社会的・経済的に困窮する家庭への生活支援として無償配布し生活水準の向上に寄与した。 <p>配布回実施回数3回、参加団体延べ15団体、受益者約2,260人 (効果が及んだ地域) 佐賀県内</p>
(6) 連携先・連携内容 (県、市町、企業、団体等)	<p>連携した団体及び連携内容</p> <p>株式会社山陽パーツ：企業版ふるさと納税、トレーラーの点検・管理 サントリーホールディングス：企業版ふるさと納税連携、事業実施協力 佐賀県食でつながるネットワーク協議会（食つな）、佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）：佐賀女子短期大学3号館の共同利用 武雄市：武雄市の備蓄倉庫の一部を活用した災害支援物資の共同備蓄 九州運輸局（佐賀運輸支局）：トレーラー臨時運行許可証の発行 佐賀県：佐賀競馬場内トレーラー保管スペースの提供</p>

※記載欄が不足する場合には、適宜、欄を拡大してください。